

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
24	創価大学	環境経済論	碓井 健寛	4	秋学期	金	30	10:45～12:15 13:05～14:35	創価大学	若干名

【到達目標】

B 評価のレベル

「環境経済学の理論を用いて、ごみ問題と地球温暖化問題を説明できる」

【授業の概要】

ミクロ経済学をベースとした環境経済学を学びます。具体的には廃棄物と地球温暖化問題を取り上げ、経済理論をもとにした環境政策がどのように使われているのを見えていきます。また、わが国の廃棄物政策の底辺にある循環型社会について考えながら、経済効率性と環境効率性という基準で立体的に理解を深めたい。

【授業内容】

1. インTRODクシヨン
2. 第I部・・・理論 DVD 視聴 「戦後史証言 第3回公害先進国から環境保護へ」(前半)
3. DVD 視聴 「戦後史証言 第3回公害先進国から環境保護へ」(後半) グループディスカッション
4. 直接規制, 課税, 補助金 I
5. 直接規制, 課税, 補助金 II
6. コースの定理 I
7. コースの定理 II
8. 費用便益分析(cost-benefit-analysis: CBA) 便益評価の実例(富士山の生態系評価)
9. グループディスカッション 「環境税の理論と実際」
10. 便益評価の実例(バルディーズ号事件から)
11. DVD 視聴 シリーズ東日本大震災 防潮堤 400キロ ～命と暮らしを守れるか～ グループディスカッション II
12. 公害問題から環境問題へ DVD 視聴 田中正造ドキュメンタリー(前半)
13. DVD 視聴 田中正造ドキュメンタリー(後半)
14. 第II部・・・廃棄物の経済学 循環型社会の理論と廃棄物処理の歴史と技術 水俣病ドキュメンタリー(前半)
15. 水俣病ドキュメンタリー(後半)
16. ケーススタディ・容器包装リサイクル法
17. ケーススタディ・家電リサイクル法、自動車リサイクル法
18. 経済的手段 ごみ有料化 1
19. 経済的手段 ごみ有料化 2
20. 経済的手段 デポジットリファンドシステム
21. 原発問題について
22. 「八王子市のごみ減量対策の取組について」八王子市ごみ減量対策課
23. 原発事故に関連する映像資料(前半)
24. 原発事故に関連する映像資料(後半)
25. 「ミクロネシア連邦でのごみ減量対策の取組について」八王子市ごみ減量対策課 前川健一氏
26. 第III部・・・地球温暖化の経済学 気候変動の費用と便益 気候変動に関する交渉 温暖化の映像資料
27. 温暖化の映像資料 「サイエンス ZERO～異常気象が世界を襲う・地球シミュレータの警告」
28. 温室効果ガス削減の取り組み・京都メカニズム 「サイエンス ZERO～地球温暖化・環境の崩壊を回避せよ」
29. グループディスカッション 「エネルギー問題入門」
30. 再生可能エネルギーの普及

【成績評価方法】

定期試験:34%

レポート:36%

日常点(小テスト・課題等):20%

その他:10%(3回のグループディスカッションへの参加・ディスカッションへの貢献度合いを評価します。)

【教科書】

プリントを使用します。

【参考書、教材等】

1. 日引聡, 有村俊秀『入門環境経済論—環境問題解決へのアプローチ』, 中公新書
2. マンキュー『マンキュー経済学 I ミクロ編(第3版)』, 東洋経済新報社
3. 栗山 浩一, 庄子 康『環境と観光の経済評価 国立公園の維持と管理』, 勁草書房(図書館有)

※ この授業は、9/12(木)が初回です。